



可部地区社会福祉協議会だより

福祉あけぼの

134号

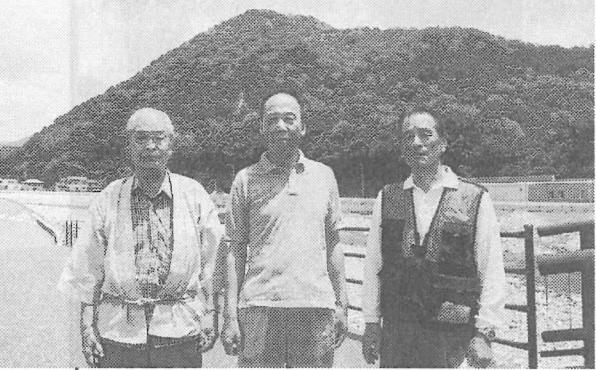
編集発行
可部地区社会福祉協議会
広報部会
印刷所 可部印刷(株)

復活!! 可部「大文字」

毎年、可部の初夏の伝統行事として親しまれてきた「大文字まつり」。コロナ禍で、この3年中止を余儀なくされていましたが、ついに今年、4年ぶりの復活となりました。



高松山によりみがえった「大文字」。カラーでお届けできないのが残念。



高松神社大文字保存会の皆さん。向かって左から、会計の中本熟さん、理事の米田正則さん、会長の山本一雄さん。「大文字の電灯は、一個でもつかないとカタチにならないので、気が気じゃない。一週間前から酒断ちしたよ。」と中本さん。皆さんのご苦労の程が偲ばれます。

●高松山大文字ひとくちメモ●

大文字いつから

およそ300年ほど前、享保5年(1720)に起きた可部の大火灾後に、町内有志の者が火の守り神として始めたという説が有力です。(諸説あり)

京都の大文字とただ二カ所だけ

大文字を献灯するのは、全国でも京都と可部の二カ所だけ

可部の大文字の神様

京都の大文字が「精靈送り火」に対して、可部の大文字は「火伏・防火の神」をお祀りしています。大文字献灯以来、可部の町に大火はなく、まさにご利益は抜群。昔は提灯を下げていましたが、昭和39年から電灯に代わりました。

復活ののろしを上げたのは、代々脈々とこの伝統行事を守ってきた高松神社大文字保存会の皆さん。会長の山本一雄さんは、「今年こそはやると決意し、動き出したところ、複数のメディアに取り上げられ、保存会だけでなく、たくさんの人々に応援していただけたくなりました。」と話します。

安佐北区で開催されるトレイルランの関係者が、ボランティアとして名乗りを上げ、登山道や急斜面の大文字設置場所の整備会に協力。近隣町内会自治会、

高松山に、ついに「大文字」復活! このニュースに、長いコロナ禍で疲れ、何かと停滞していた可部の町に、一気に爽やかな風が吹き渡りました。4年ぶりの「大文字」です。復活ののろしを上げたのは、代々脈々とこの伝統行事を守ってきた高松神社大文字保存会の皆さん。会長の山本一雄さんは、「今年こそはやると決意し、動き出したところ、複数のメディアに取り上げられ、保存会だけでなく、たくさんの人々に応援していただけたました。」と話します。

平成5年5月27日、可部高松山に、ついに「大文字」復活! このニュースに、長いコロナ禍で疲れ、何かと停滞していた可部の町に、一気に爽やかな風が吹き渡りました。4年ぶりの「大文字」です。復活ののろしを上げたのは、代々脈々とこの伝統行事を守ってきた高松神社大文字保存会の皆さん。会長の山本一雄さんは、「今年こそはやると決意し、動き出したところ、複数のメディアに取り上げられ、保存会だけでなく、たくさんの人々に応援していただけたました。」と話します。

そして迎えた当日。晴れ渡った初夏の夜空に、くつきりと浮かぶ「大」の文字。援の声を上げました。

可部夢街道まちづくりの会、NPO法人ウイング可部など、復活を待望している地域住民が、こぞって応援の声を上げました。

可部夢街道まちづくりの会、NPO法人ウイング可部など、復活を待望している地域住民が、こぞって応援の声を上げました。



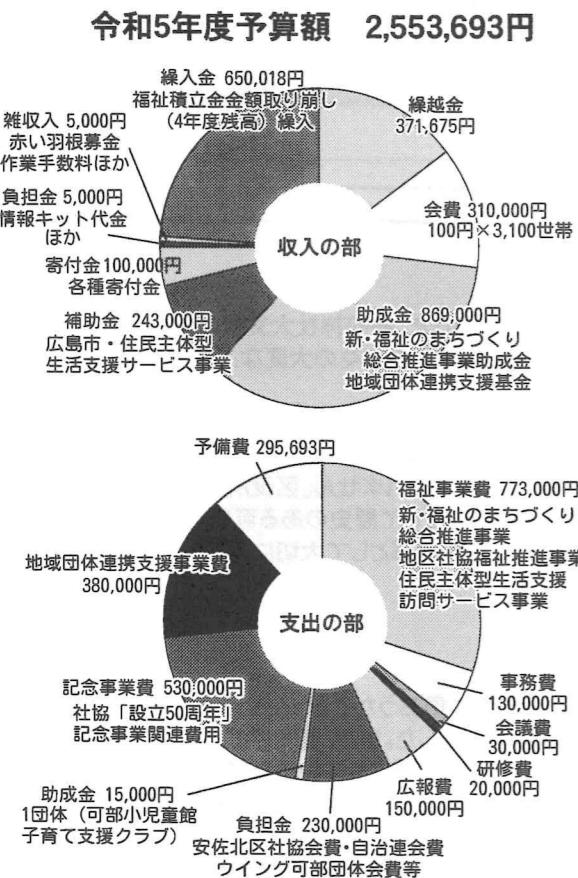
東綾ヶ谷いきいき百歳体操の会

この会は数年前、民生委員が「高齢者の集える場所を」と老人会に声をかけ、発足しました。現在は自治会が主催し、民生委員・老人会がお手伝いしています。

会場の東綾ヶ谷公会堂は、昭和37年まで地域の保育所として使われており、地元の子どもたちが2年間通ったところです。昔、手回し蓄音機に合わせて「おゆうぎ」していた同じフロアで、70年後に「百歳体操」をするとは…

毎週月曜日の10時から、動画を見ながらダンベルを手首足首に巻いて、体操。参加者は約20名。コロナ前は1時間弱の発声を含めた「体操」でしたが、今は30分の短縮バージョン。それでも、みなさん「いきいき活動ポイント」と「一週間ぶりの再会」を楽しみに、開場の30分前から来られます。

この東綾ヶ谷エリアは、戸数はさほど多くないのですが、約3キロの幹に、あちこちから小枝が伸びたような地形で、半数は会場に来るのに車が欠かせない方々です。なかなか免許返納とはいか



今年は可部地区社協設立5年

令和5年度 可部地区社会福祉協議会事業計画

各種イベント再開へ

コロナ禍により、各種会議や全体会などの人が多く集まるようなイベント開催を避けてきましたが、ボランティアバンクの活動、サロン活動の支援、広報活動等、可部地区社協の事業に大きな停滞はありません。コロナの5類の移行に伴って、地域も従来の社会生活を取り戻しつつあることを踏まえ、さまざまな事業に参加、協力していきます。

今年は可部地区社協 設立50年

可部地区社協は、今年設立50周年という節目の年を迎えました。可部の皆さんとともに歩んできた50年。50周年を記念して、来る1月一日(日)に、記念式典を開催する予定です。

令和5年度 可部地区社会福祉協議会事業計画

令和五年度
可部地区社会福祉
協議会役員

何度も、同じことでも。
繰り返すことで心構えを。

可部学区防災訓練

7月2日、可部学区自主防災会連合会主催の防災訓練が行われました。

地域から184名が参加し、関係団体が工夫を凝らした各ブース、災害の実態や、いざというときの役立つ情報、知識を学びました。

台風や大雨、地震。今年も日本各地で、大雨や台風の被害が出しています。

さか——。こんなことは初めて。いいえ、いつ何が起こっても思議ではない時代がやって来ました。

さあ、大切な家族や自分自身の命を守るために備えましょう。



3Dめがねを装着し、土石流に実際に遭遇している
ような体験ができる映像を視聴。
なかなかの迫力でした。



国土交通省の中国地方整備局から、可部地域の
ハザードマップの説明。
自宅と照らし合わせて、再確認。



段ボールでつくる簡易な避難用ベッド。個数が多いので、組み立てには少々時間がかかりましたが、避難所では心強い味方です。



今回の防災訓練を主催した可部学区自主防災会連合会の皆さん。防災訓練の実施に当たって、国土交通省、気象庁、安佐北区地域おこし推進課、安佐北消防署、地区消防団可部分団等、多くの関係機関の皆様に多大なご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



安佐北消防署からは、AEDの操作体験や、赤ちゃんのおむつをレジ袋などあり合わせの物で代用する方法、「ミニ袋で簡単につくるレインコート等の指導を受けました。

ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。

可部に暮らす高齢者や、障がいをお持ちの方、子育て真っ最中の方などを対象に、誰かの手がほしいな、ちょっと助けてほしいな、という時、頼りになる助っ人として駆けつけます。

植木の枝きり、草取り、不要品の処分のお手伝い、家具の移動、一般的なゴミ出し、窓ふき、電球の取り替え、などなど。どんなことでもまずはご相談ください。受付日時に、お電話、または可笑屋2階事務局まで、お気軽にお越しください。

受付 毎週月曜日、火曜日、木曜日

月曜日 10:00~12:00

火曜日・木曜日 10:00~12:00

13:00~15:00

祝日、盆休み、年末年始を除く

りんりん可部事務局

☎ 082-847-5509

FAX 082-815-0756

住所 広島市安佐北区可部3丁目34-1

可笑屋（かわらや）2階



救急車を呼んだ時や緊急時、持病の情報など書いたシートを保管して迅速で地域の福祉委員、可笑屋、増井書店で取り扱っています。「救急医療情報キット」を配布しています。地域の福祉委員（ボトル、カード、スティック）です。（ボトル、カード、スティックをお持ちの方も、情報シートの書き換えをおします。新しい用紙をお渡しします。）新しく用紙をお渡ししますので、地域の福祉委員にご連絡ください。

救急医療情報キット

真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財をいただき、感謝を申し上げます。

（令和4年12月16日～令和5年8月31日現在）

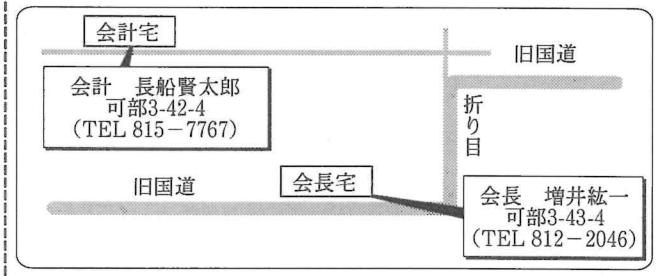
「一般の寄付」

緑ヶ丘三区町内会 様 可部六丁目（緑ヶ丘三区）

勝圓寺仏教婦人会 様 可部三丁目（慶安）

光善坊（東）老人クラブ 様 可部二丁目（光善坊）

可部地区社協では、皆様からのご寄付を歓迎しております。寄付金は、可部地区社協会長宅にご持参、またはご連絡いただければお伺いいたします。よろしくお願ひいたします。



編集委員のつぶやき

黒田 正

今年、78年目の原爆の日を迎えました。

5月に行われたG7サミット。原爆資料館、原爆慰靈碑、原爆ドーム。各国首脳はどういうにヒロシマからのメッセージを感じたでしょうか？平和であることがどれだけ尊いことかを考えたでしょうか。

香川和子

毎日の猛暑、そして九州や東北の大暴雨による大災害。本当に地球はどうなってしまうのか。エアコンをつけたいけれど電気代が…これも皆さんのお口を開けば出てくる言葉。そうなのよねと思いつながらも、今年は残暑も厳しいらしいので、無理をしないで自分で自分を守ることを大切にしてくださいと話します。

いろいろ言われている暑さ対策を有効に活用して、猛暑・残暑を乗り切りましょう。

一川初子

今年の6月7月は、線状降水帯が発生し、九州北部や山口・秋田と大変な被害がありました。梅雨明けしたと思ったら、今度は猛暑。連日、熱中症に注意と言われます。水分補給を充分して、この暑い夏を乗り越えたいと思います。

仁井美智子

4年ぶりにともされた、高松神社大文字の火。高齢化、メンバーの減少等、保存会の方々の大変なご苦労があったと伺いました。

旧市内に住む友達から「可部から市内まで、どうやって出てくるの。」と聞かれる事が度々あります。田舎のイメージが強い「可部」なのかもしれません。区役所、警察署等、官庁も整い、便利な可部。そして歴史のある可部。伝統あるお祭りの復活を機に、わが故郷として大切に守りたいと、改めて感じております。

田川貴志子

昨年は山羊でも飼おうかと思っていましたが、今年は自然農法と開き直りました。まあ、暑すぎて、何となく雑草も元気がない。きちんと除草されているお庭や畠を見かける度に、そのご苦労に頭が下がります。ああ、魔法が使えたら…